



第56回花と彫刻展			
浅田 耕一	washi-#12 —猛暑の名残—	素材:樹木・和紙	
コメント: 今年の夏は例年よりかなり暑かった。いままで、夏の暑さで広葉樹の葉が焼けることはあったが、今年は、焼けるどころか葉が枯れ、大半散ってしまう木が出てきた。水やりしてるのに、暑さでこんなことが起こるんだ、と驚いた。 葉が枯れ散っても木は死んでいない、枯れていない・・・葉がすべて散った後、新し芽がところどころから顔をだす生命力。そこで、たまたま、我が家に立ち枯れしたハナミズキがあり、その幹を使い、枝と新しく生まれた新芽を和紙で創作し、この生命力を、猛暑の爪痕、猛暑の名残 として表現した。			

第57回			
浅田 耕一			

